

平成29年8月25日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

つちおと

8/11(金)

～ 鹿折 復興盆踊り大会！ ～

8月11日、気仙沼市最大の市営鹿折南住宅（284戸）を会場に今年で2回目となる盆踊り大会が盛大に開かれました。テーマを「輪～おどりの輪、みんなの輪、地域の輪」とし、住民や地域間交流、にぎわいづくりを目的に行われたものです。内容は舞やミニコンサート、吹奏楽のステージショーのほか、打ち囃子や虎舞いの伝統芸能など多彩。メインの盆踊りでは、浴衣姿の住民や入居者が輪になって踊り、旧かもめ通りでの大綱引きでは鹿折の北と南に分かれ力いっぱい綱を引き合い、交流を深めました。



8/6(日)

～ 「みんなで未来をつくろう教室」開催！ ～

8月6日（日）、南三陸町入谷地区の「さんさん館（旧林際小）」を会場に、被災地3県の小・中・高校生を対象にした、地域の魅力をPRする15秒CMを自ら考え・演じ・発表する体験型学習イベント【みんなで未来をつくろう教室】が開催されました。今回の参加者は宮城県内の中高生25名。普段は学校も学年も違うメンバー同士で協力し、アイデアを出し合い、テレビ画面に見立てた舞台で手作りCMを演じました。つくろう教室は、復興庁「被災地復興に向けた情報提供と復興施策の理解促進事業」の一環で、株式会社電通のサポートにより実現したものです。過去にも宮城・福島・岩手の各県で開催され、地域の魅力を地域の子供達自身が発掘・実感する機会を提供しています。



～ 進む震災復興【鹿折地区土地区画整理事業】 ～

■気仙沼市がUR都市機構と業務委託契約を行い実施している、被災市街地復興土地区画整理事業です。■平成25年7月より工事を着手し、平成30年度内の宅地整備完成を目標としております。■施行面積は42ha。うち約30haはTP+3.0m以上の嵩上げを行い、主に住居系の市街地整備を、残り約12haはTP+1.8m以上の嵩上げを行い、主に商業・工業地の整備を行います。■現在の進捗率は、宅地引き渡しベースで7割程度となっております。■最近の話題としては、4月14日に市民福祉センター「やすらぎ」が、4月23日にかもめ通り商店街がオープンし、賑わいを取り戻しつつあります。■苦勞する点を気仙沼市建設部都市計画課とUR都市機構気仙沼復興支援事務所にお聞きしました。■『事業の特性上、市内中心部における盛土主体の工事であり、埃や路面汚損でご迷惑をお掛けしておりますが、路面清掃やタイヤ洗浄等、可能な限り環境改善に努めておりますので、何卒よろしくお願い致します。』とのお話を頂きました。■遠く九州地方から応援に来られている方もいらっしゃいます。気仙沼市の復興にご尽力頂きありがとうございます。



■当該地区において「土地をさがしている方」と「土地所有者」とを紹介する制度を設けており、この制度にていくつかの商店や工場等が整備されました。■詳細は右記QRコードからご参照願います



～ 応援職員だより【地域農業の振興を目指して】 ～

東日本大震災により、甚大な被害を受けた気仙沼・本吉地域の農地復旧・復興事業を支援する団体（気仙沼地区農地災害復旧・復興事業推進協議会）で農地の整備を行っています。

気仙沼市の復旧対象農地面積は673haと海岸に面した農地や川沿いにある農地が被災しました。

復興交付金事業により農地の圃場整備（区画整理）を4ヶ所（約56ha）で行っており、来年の春には営農が再開できるように進めています。

千年に一度と言われた大規模な災害であり、これらの農地を震災以前の農地以上の良い状態によみがえらせ、気仙沼・本吉地方の農業を復興するのが目標です。

従来の稲作やイチゴ栽培に加え、畑地を活用した新しい作物（ねぎ栽培）を取り入れた産地づくりに結び付けられるように、担い手組織（営農組合・法人）の育成により気仙沼・本吉地域の農業振興を目指しています。



応援職員の高橋利夫さん（写真右端。ねぎ栽培を担うシーサイドファーム波路上(株)のメンバーと共に）。気仙沼市本吉総合支所産業課勤務、地元出身。平成27年4月から復興庁の復興支援専門員として、農地復旧事業に従事しています。今回は3年にわたる復興事業にける熱い思いを綴っていただきました。

7/28金

～ 気仙沼地域開発(株) 内湾商業施設着工！ ～

スローフードマーケット

内湾スロー村（仮称）イメージ図

スローストリート

ウォーターフロント

7月28日、気仙沼地域開発(株)が計画する商業施設「内湾スロー村（仮称）」3施設の一つ「ウォーターフロント施設」の地鎮祭が行われました。

震災前の気仙沼内湾地区の賑わいを取り戻そうと、南町・魚町地区土地区画整理事業区域内に建設される「内湾スロー村（仮称）」は、レストランや物販店、カフェなどが入る「ウォーターフロント施設」、地元の食材などを取り扱う「スローフードマーケット」、ラーメン店などが入る「スローストリート」の3施設からなり、平成30年4月の完成を目指しています。

ウォーターフロント施設建築の一部は、優良建築物等整備事業（復興交付金事業）で行われます。

※ 気仙沼地域開発(株)：都市開発、観光開発に関する調査、企画などを行う官民出資の街づくり会社

ウォーターフロントイメージ図



8/16水

～ 復興・創生インターン（夏期）スタート！ ～

平成29年度の「復興・創生インターン（夏期）」が、気仙沼ブロックの気仙沼市、南三陸町において、ともに8月16日からスタートしました。今後、参加した学生の皆さんは、単なる就業体験に留まらず、被災地企業が抱えている経営課題に対し、経営者と協働して解決をしていくという実践型インターンシッププログラムに取り組んでいきます。

本インターンでは、地域に根付いた団体がコーディネーターとして参加学生の挑戦に伴走します。復興に懸命に取り組む人々や地域で活躍する人々との交流を経験することによって、参加学生が被災地域の魅力を感じるとともに、今後の職業・将来を考える上での一助になることを期待しています。



復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【8月26日（土）、9月2日（土）、9月9日（土）】ひころの里で夕涼み 2017【南三陸町】

ひころの里で、この夏、ゆっくり贅沢な時間を過ごしませんか。ビールや地元産果実のカクテルにジュース、軽食をご用意しております。浴衣のレンタル（要事前予約）や、青空ライブ（8/26、9/9のみ）も。各開催日ごとに、16時から19時まで。

【9月16日（土）、17日（日）】ツール・ド・東北 2017【南三陸町・気仙沼市ほか】

復興を願い、三陸沿岸を自転車で駆け抜けるレースが今年も行われます！今年で5回目となる今回、大会自体は16日からですが、南三陸町、気仙沼市をライダーが走るのは17日。沿道に出て思い切り応援しましょう！

◆支所長コラム

梅雨明け前は晴れの日が続ки、今年は空梅雨かと思っていましたが、■梅雨明けしたとたんにジメジメした日が続き、残念な夏となってしまいました。■また夕方になると、向かいの気仙沼小学校にはカラスの群れが集結し「カーカー」と騒ぎだします。「日の長さも短くなってきたのかなあ」と寂しく感じているところです。■さて私ごとですが、4月に気仙沼に赴任し、気仙沼のおいしい幸を堪能した結果、赴任時に新調したスーツがキツキツに、そしてベルトの穴は1つ大きめのサイズへ移行。■この調子（4か月でウエスト2cm増）で肥えつづけると1年で6cm、2年で12cmのウエスト増に・・・■これはまずいと一念発起し、応援職員さんから教えていただいた〇〇ダイエットを敢行中です。■気仙沼の食文化、恐るべし。（吉）

【編集後記】

◆あまり知られていませんが、唐桑にはホタテに似た形の「アカザラガイ」という貝があり、これが茹でると旨いのです。

気仙沼支所の

今月のベストショット

Best★Shot

大漁祈願！



大型サンマ船の出船送り



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>